

各 位

フタバ産業株式会社

車両レベル性能評価を実現する研究開発設備を刷新

～半無響評価環境とハブ直結ダイナモを活用し、次世代モビリティ開発を加速～

フタバ産業株式会社（代表取締役社長：久恒季之、以下「当社」）は、このたび幸田工場研究棟において、既存の車両性能評価設備および評価環境を刷新し、車両レベルでの性能評価機能を強化しました。

当社は経営スローガンとして「良い部品づくりから良いクルマづくりへ」を掲げています。自動車産業を取り巻く環境が大きく変化する中、部品単体の性能向上に加え、車両を利用されるお客様が体感する価値や車両全体の性能を見据えた開発の重要性が高まっています。

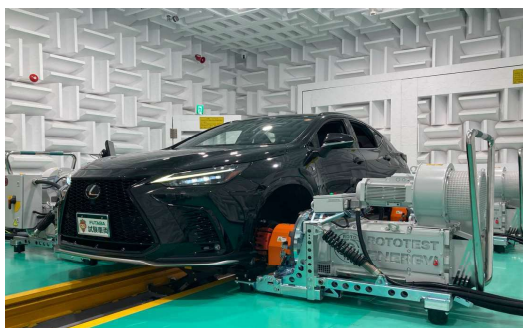
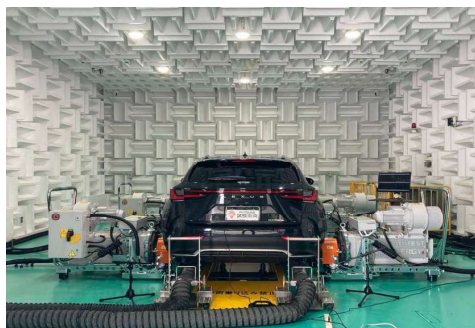
今回刷新した研究棟では、車両対応の半無響室を中心に、音・振動評価や熱マネジメント評価などを実施できる評価環境を構築しました。半無響室には大型搬入口や床ピットを備え、車両の搬入から評価までを効率的に行えるレイアウトを採用しています。また、施工後の性能検証において、500Hzで74dBの遮音性能（外部音を大幅に低減）を実証するとともに、暗騒音NC-20以下※を達成し、車両や部品から発生する微細な音や振動まで精密に評価できる環境を実現しました。

※NC（Noise Criteria）：室内の暗騒音を示す指標。NC-20以下は精密な音響測定に適した極めて静かな環境

さらに、研究棟には株式会社東陽テクニカの子会社であるRototest International AB社製のハブ直結ダイナモメーター「ROTOTEST® Energy™」4WDシステムを導入しました。本設備は車輪ハブに直接接続する方式を採用しており、従来のローラー式設備と比べて不要な騒音や振動の影響を抑え、実車走行に近い条件で車両および部品の性能を高精度に評価することが可能になります。

これらの設備により、部品単体ではなく車両全体の視点で当社製品の性能を評価できる環境が整いました。排気系製品やボデー部品をはじめとする製品について、車両全体の性能に与える影響を評価し、より良いクルマづくりに貢献する製品開発と性能提案を進めてまいります。

フタバ産業は今後も研究開発基盤の強化を進め、「良い部品づくりから良いクルマづくりへ」の実現に向け、部品メーカーの枠を超えた価値創造に取り組むことで、次世代モビリティ社会の発展に貢献してまいります。



このニュースに関するお問い合わせ先

フタバ産業株式会社

担当： 総務部広報課 有我、鈴木（TEL：0564-31-2211）
〒444-8558 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋 1
E-Mail：koho@futabasangyo.co.jp
URL：https://www.futabasangyo.com